



九州南部(宮崎)は梅雨入りしましたが、平年よりも19日早いと言われています。1956年(昭和31年)の5月1日に次いで過去2番目に早い梅雨入りとなったようです。梅雨には、真夏になる前の約1ヶ月ぐらいの間、しとしと雨が降り続くわけですが梅が熟す頃でもあるということで「梅雨」と書きます。多くの方は、あまり好きでない時期ではないかと思えます。しかし、一年という長い期間を考えたとき植物にとっては水を得る時期ということで欠かすことのできない季節でもあります。また、梅雨というと「アジサイ」の花です。アジサイは、日本の野山に咲いていた「ガクアジサイ」を日本人が改良して育てた花で、外国の人にも愛され、日本から世界へと広がっていった花だそうです。【市民の森「花菖蒲」】



お楽しみ 喫茶

5月は、お楽しみ「喫茶」が開かれました。新型コロナ感染拡大により、4月の園行事がすべて中止になったことで代替行事として企画したものです。職員の方で調理したパンケーキとお飲物の中から好みの物を選んでいただき試食をしました。また、プロジェクターで音楽や映像を流して、視聴しながらご入所様と職員が一緒になって楽しい一時を過ごすことができました。



今回は、ワクチン接種やコロナ拡大防止のために「喫茶」は途中延期となりましたが、今後、北・南ユニットでも開催いたします。

オットット...
ほっぺたが落ちる。

甘いパンケーキで
元気が出ました。

園内での「PCR検査」の結果と「ワクチン接種」の状況

コロナ感染への対応ということで、先日ご入所様と全職員に「PCR検査」を実施しました。ご存じの通り、この検査を実施したのは、施設内でコロナ感染疑い者や感染者が出たからという理由では

なく国内・県内で感染が急拡大するなか、あくまでも園内において感染者を出さないために現状把握の重要性を考えた上でのことでした。その結果は、各ご家庭に電話でもお知らせしましたように全員陰性でした。検査前の説明が十分でなく、不安になられたご家庭もあったようです。大変ご心配をおかけいたしましたことを改めてお詫び申し上げます。

また、県内でのコロナ拡大(26日:10名)の見られる現状から施設においても定期的な検査等は実施していかなければならないかと考えているところです。なお、今「ワクチン接種」が進んでおり、第1回目の接種をご入所様・全職員共に終わるところです。接種箇所である肩の痛みを感じる方もおられますが、2・3日で痛みも治まっているようです。現在のところ目立った副反応は出ておらず、また重大な副反応としてのショックやアナフィラキシー症状など起きておりません。

6月3日から2回目の接種が始まります。より注意深く状態を観察しながら接種を進めてまいります。



【26日の全国ワクチン感染者数】



6月のお誕生日



氏名	年齢	氏名	年齢
中村 様	105歳	田中 様	90歳
日高 様	80歳		